

No.146 2017 JANUARY

平成29年1月27日発行



愛と復興

議会報告会  
町民から多くの意見をいただきました … 2

菅家新町長  
町政の所信述べる …… 4

住民と町が力を合わせ …… 6

町民からの陳情、今 …… 10

一般質問（9人の議員が登場） …… 11

# 議会だより



発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



平成29年は酉(とり)年です。

議会報告会

# 建設などに意見



一日も早く役場庁舎を建てる有志の会



只見町商工会青年部

10月24日から3日間、議会報告・意見交換会を三振興センター、商工会にて行いました。町民の皆様から貴重な意見をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。いただいた意見は、議会だよりで公表することが義務づけられており、なお、委員会では今後町政に反映できるよう努めて

まいります。今回寄せられた意見は、国道289号「八十里越」の事業見通しや、只見地区中心市街地活性化事業の見通し、また、医療・介護の人材不足への不安、さらに、三地区から役場庁舎建設事業が話題としてあがりました。

## みなさんからいただいた意見

一日も早く役場庁舎を建てる有志の会

商工会青年部

- ◆一億数千円円の損失に至った経過は大きな不手際である。
- ◆住民説明会を開いても住民意見が反映されなかった。
- ◆今後は町民意見を反映した建物にすべき。
- ◆暫定移転と庁舎建設は同時進行で進めてほしい。
- ◆建設検討委員会を立ち上げ建設に向けた検討を進めてほしい。
- ◆一億数千円円の損失に対する支援について
- ◆宿泊・飲食事業者だけでなく、個人商店にも支援をしてほしい。
- ◆推奨製品の取り組みが、添加物等の制限が厳しく取り組みにくい。
- ◆子育て支援など地元の子どもたちにもっと投資すべきではないか。
- ◆八十里越の開通と中心市街地活性化計画がリンクする計画づくりを。
- ◆テーマ3：観光交流人口を増やすためには登録後、観光客が増えるのを見込んでいたが現状は厳しい。観光誘客に力を入れてほしい。
- ◆テーマ2：中心市街地活性化について
- ◆商工会で計画素案を策定したが、その後の進捗が分からない。



多くのご意見をいただきました

# 三地区から役場庁舎

各振興センターでの議会報告会・意見交換会

## 只見地区

- ◆ 議会だよりが大変見やすくなった。
- ◆ 8月会議で提案された暫定移転予算他の一般会計補正予算が否決されたが内容を伺いたい。
- ◆ CLTの推進を。民有林の持ち山調査をしてほしい。
- ◆ 5千万円以下の建築について、町内での入札は競争が働いていないのでは。
- ◆ スポーツパーク構想は、住民要望に添うよう今後よく検討してほしい。
- ◆ 町長と議会の関係について、議会は提案型の質問を重視し町民の代表として発言してほしい。

## 朝日地区

- ◆ 八十里越について、平成35年供用開始を目指して運動してほしい。
- ◆ 山村教育留学生の冬の通学について、スクールバスの検討をしてほしい。
- ◆ 議会に陳情し、現地調査もされた黒谷白沢地区の天堂沢河川改修及び集落給水施設の対応はどう進んでいるか。
- ◆ 役場庁舎の暫定移転計画はその後どうなっているか。
- ◆ 中心市街地活性化計画についてその後の進捗は。
- ◆ シルバー人材センターの立ち上げ見通しは。

## 明和地区

- ◆ 文化ホール機能は今後町でどう考えているのか。
- ◆ 医療介護のスタッフについて、将来的に更に人材不足が想定されるが、今後の対応は。
- ◆ 町民には、議会報告会なので自由な意見が述べられないと思っっている人が多し。もつと議会が出席を増やすPRを行うべきだ。
- ◆ 役場庁舎建設で既に1億2千万円の税金が支出されている。その責任は町長か、議会か、町民か。そこを明確にしてから進むべきだ。



議会報告会(朝日地区)

	10月24日	10月25日	10月26日
1班		一日も早く役場庁舎を建てる有志の会	議会報告会(明和振興センター)
	議長、鈴木征、大塚純一郎、目黒仁也、山岸国夫、鈴木好行		
2班	議会報告会(只見振興センター)	議会報告会(朝日振興センター)	只見町商工会青年部
	副議長、藤田力、佐藤孝義、新國秀一、中野大徳、目黒道人		

12月  
会議

あらまし

12月議会が19日から4日間の日程で開かれました。第一日目は、菅家新町長が今後の町政運営に当たる所信を述べ、議会各常任委員長からは所管事務の調査報告を行いました。二日目に、9議員が一般質問を行い、今後の

町政運営の基本姿勢などを質しました。一般質問終了後、補正予算や条例改正案などの議案を審議し、提案された25議案すべてを原案通り可決し散会しました。

# 菅家新町長 町政の所信述べる

## 「対話」基本 民意が反映できる体制つくる



新町長の所信表明

### 柱 1

民意の反映

町づくりには、住民の皆様の積極参加が大切と考える。地域のことはそこに住む人たちが決め行動することが大切で、そのためには、行政情報の共有と民意が反映される体制づくりに努める。

### 柱 2

交流推進

ユネスコエコパークに登録された個性的な環境を活かして、農林・観光のブランド化を図っていくことが力。地域文化や自然を活かした観光資源の活用で交流人口の増加に努める。

### 柱 3

地産地消運動

観光と産業の連携、地産地消運動を推進し、289号を視野に入れた取り組みを進める。農作業受委託組織などの育成に努め、雇用や住宅対策に取り組む。更に、町内消費による経済の活性化を推進する。

# 町長所信表明 12月19日

診療所医師の安定した確保を図り、介護予防と合わせ健康で生きがいのある高齢者対策と少子化対策、障がい者福祉の増進にも努める。生活交通手段の充実を検討する。

## 柱4

医療・福祉

学力向上対策、教育環境の充実に努める。継続して只見高校振興対策に取り組む。町の貴重な文化遺産を町民の誇りとして学校教育・生涯学習・観光面に活用する。

## 柱5

教育・文化



只見保育所お遊戯会

## 柱7

その他

国道道の整備促進を引き続き積極的に要望する。JR只見線の早期全線復旧に取り組む。効率的な行財政システムを確立する。

## 柱6

公共施設

役場庁舎は、仮移転、施設整備と課題は多い。今までの経過等を十分に精査し、身の丈に合った庁舎で雪対策を考慮した施設を検討していく。



議長 藤 邦夫  
議員 齋 藤 邦夫

所信表明を聞いての議長コメント  
「政策提言ができる議会を目指す」

近年、地方分権改革が推進され、議会の権限と責任が大幅に強化されました。そのため、只見町議会は通年議会制度を導入して対応しております。

議会は、二元代表制の下、町民の皆様 に代わり事業や予算を決定し、その執行を監視する役割から必要に応じて特別委員会を設置する等、執行状況の審査を行ってききました。

町は今、高齢化が加速する中、町の基盤となる集落対策が大きな課題の一つとなっています。今回の所信表明では、「対話」を基本に6本の柱で諸施策を述べられました。今まさに町民の目線に立った町政が真に問われる時代となり、「対話」は極めて重要な視点であります。我々議会も議員間の政策討論を通じて「政策提言のできる議会」を目指し、町当局とともに互いに切磋琢磨してより良い町づくりにために努力して参ります。町民の皆様のご指導・ご支援をお願い致します。

# 条例

## 住民と町が力をあわせ

### 野生動植物保護監視始まる



タダミハコネサンショウウオ



フクジュソウ



野生動植物保護を求める垂れ幕

只見町には、他に類を見ない希少な野生動植物が生息している。昨年は、町内で新種のタダミハコネサンショウウオが発見され話題となった。一方、心無い人による山野草の盗掘やライトトラップによる昆虫採集も相次い

で報告され、地元住民からも保護監視を求める声が上がっていた。議会は昨年6月只見町の野生動植物を保護する、罰則規定を含めた条例を可決した。そして、この度の条例に基づき保護監視委員の年間活動報酬15,

000円を定める条例案が可決され、15名の保護監視委員による監視活動が4月からスタートする。

## 障がい者グループホーム建設へ

### 建設後の運営見通しに質疑

長浜の久保田地区、現在のあさくさホーム脇の町有地を社会福祉法人南陽会に貸付ける議案が可決された。面積は、1000㎡、期間は当面10年無償で貸し付ける。議案審議では、建物建設の補助金も別途予算提案されているため、開所後の運営見通しや入所料金など、今後の運営計画について質疑が集中した。この事業については、今後の進捗状況を改めてお知らせします。

# 財産貸付

# 修正 予算

4374万円を追加し、総額62億8505万円となる一般会計修正予算（第4号）が可決されました。現在、建設工事が進む奥会津学習センターの工事費の追加、只見振興センターの備品購入予算、障がい者支援のためのグループホーム建設補助などが含まれます。中でも、奥会津学習センターの工事費の修正理由に議論が集中しました。

## 奥会津学習センター 修正理由に議論集中

### 対応の遅れ教育長が謝罪

平成28年度 各会計修正予算		
会計別	修正額	議決内容
一般会計（第4号）	4374万円	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計	718万円	全員賛成により可決
国民健康保険施設特別会計	1071万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	152万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	3542万円	全員賛成により可決
訪問看護ステーション特別会計	306万円	全員賛成により可決
集落排水事業特別会計	115万円	全員賛成により可決

平成28年度 一般会計修正予算の主な内容	
(歳入)	金額
緊急雇用創出事業臨時特例交付金	3904万円
臨時福祉給付事業補助金	1687万円
障がい者グループホーム整備事業（民生債）	2730万円
(歳出)	
障がい者グループホーム建設事業補助金	2730万円
農業用施設新設・改修工事（樋戸排水路他）	2455万円
U・Iターン等促進助成金	150万円
奥会津学習センター整備工事	503万円
只見振興センター備品購入他	2069万円

只見高校への山村教育留学生を受け入れる奥会津学習センターの増築工事が、今春4月開所を予定に進められており、出来高は現在約7割となっている。これに関連する工事費の追加予算503万円が提案されたが、内容が既に6月に判明した耐震関連の変更等であったため、予算措置の遅れ、理由についての議論が集中した。途中、休議も含め長時間の審議となったが、全会一致で可決した。



建設中の奥会津学習センター

## 指定 管理



只見保養センター「ひとつぶろまち湯」

只見保養センター（ひとつぶろ まち湯）は、現在、(株)正家が平成25年9月より町から指定管理を受け、運営を行ってきた。この度契約期間満了により、引き続き(株)正家が平成29年4月1日から5年間運営を行うことが議決された。

# 委員会 レポート

総務厚生常任委員会

## 空き家バンク 年度内立ち上げか



布沢地区で利活用された空き家

「空き家バンク」については、今年度中の立ち上げに目途がついたと認識している。過疎、高齢化社会を迎えた中で、定住・移住・都市交流を推進するための重要な施策であり、今後も継続して調査を進める。今後は生活情報や仕事の斡旋、また定住体験施設整備

などの課題もある。なお、高齢者の生きがいづくり・健康づくりを目指したシルバークリスタールの立ち上げについても模索中である。

11月11日に新潟県魚沼市からの行政視察を受け入れ、只見町内のエゴマの取組みを初めとする耕作放棄地の利活用方法について現地調査を行った。

過疎高齢化の影響による耕作放棄が進む中で、今年度から町ではエゴマを重点振興作物として耕作放棄地解消に向けた取組を展開しているが、生産面積が少ないことや手作業が多く、手間がかかるなど課題も多い。

今後、振興作物として定着させるための具体的な方法や生産者を増やす取り組み等、町当局と共に協議してい

く必要がある。今後も継続して調査を行う。



エゴマ栽培を視察する魚沼市議会の方々

## 耕作放棄地解消へ

### エゴマの推進を

経済文教常任委員会

# 議員なり手不足が全国的課題 議員報酬の低さが背景か

11月25日、全国町村議会議長会に出向き、地方議会の現状と課題について研修した。  
現在、全国には927町村ある。議員定数については、地方自治法の改正により各自治体の条例により定めることとなったが、民意の反映が十分できる人数かどうかの確認が重



議会運営委員会研修状況

要とのこと。また、町村議会議員の平均年齢は、62.7歳であり、選挙があっても平均年齢が下がらない。いわゆる「なり手不足」が全国的な地方議会の課題で、その背景には議員報酬の低さもあると説明を受けた。

10月31日に郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催され、只見町議会からは全議員が参加した。  
読売新聞東京本社編集局企画委員の青山彰久氏による「地方議会の課題と活性化策」という講演。  
氏は南相馬市のラーメン店で皿洗いをしたり、高知県の寒村に足を運んだりと地道な取材を重ね、地方が抱える課題に向き合っておられた。その上で地方創生の在り方、地方議会の責任を語られた。  
そのフィールドワークに裏付けられた講話は実に説得力のある内

## 県町村議会議員研修会 地方議会の 責任を考える

容であった。



県町村議会議員研修会

### 表紙の写真



明和小学校三年生書写授業「書きぞめ」の練習です。今年の干支の「酉」にちなんで、「とり年」が課題です。筆の持ち方やなぜ今の時代「文化」に触れることが大切なのか、様々なことを地域の書道の先生の協力で子ども達に指導します。肘をあげ、筆をたて、真剣な表情の1枚です。





# 一般質問

- **大塚純一郎** ..... 12  
  - ・新町長が目指す10年後の町の姿は
- **目黒 仁也** ..... 13  
  - ・住民と行政を結ぶ仕組みの検討を、他
- **佐藤 孝義** ..... 14  
  - ・民具収蔵庫の建設状況は
- **鈴木 好行** ..... 15  
  - ・空き家バンクの事業展開は、他
- **藤田 力** ..... 16  
  - ・町内の耕作放棄地面積は、他
- **酒井 右一** ..... 17  
  - ・平成27年度決算不認定の検証は
- **鈴木 征** ..... 18  
  - ・会津ただみ振興公社の抜本的改革を、他
- **目黒 道人** ..... 19  
  - ・ナイトウォークを再開しては、他
- **山岸 国夫** ..... 20  
  - ・「放課後児童クラブ」の進捗状況は、他

## 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

# 町政を問う

# 町を想い9名が



おおつかじゅんいちろう  
大塚純一郎議員

# 新町長が目指す 10年後の町の姿は

## 答 定住化対策が重要課題

### 問

少子過疎高齢化に歯止めがかからない只見町の現状で、菅家町長の目指す「只見町」の実現に向けた取り組みの行動計画を示せ。

### 答

若者が安心して暮らせる環境整備、定住化対策が重要課題と考える。

### 問

子育て支援ばかりでなく、産業振興、雇用対策、住宅整備など総合的に取り組む。「ユネスコエコパーク」に登録

### 問

された環境を活かして、「ブランド化を図った展開が地域再生の鍵になる。」と、町長就任にあたっての所信表明で述べられているが、具体策を示せ。

### 答

「地産地消」を自慢しながら売り出すのが一つの基本と思っている。良く調査したい。

### 問

国道289号八十里越の平成35年開通を視野に入れた取り組みの行動計画、具体策を示せ。

### 答

要望手順をもう一度確認しながら一日も早く実現出来る様に、国、県への要望活動を強化していく。

### 問

「役場庁舎建設計画」は現在、白紙状態にあり早急な安全対策が最重要課題と考えられる。菅家町長は「役場庁舎は身の丈に合った施設を求めていく。」と言われているが、具体的には。

### 答

議会の特別委員会の報告書の意見等を踏まえ、ゼロからスタートしたい。

### 問

町の将来を見通した夢のある町づくりを目指して、町民が理解出来る様に、開かれた審議検討を望む。

### 答

若者にバトンタッチ出来る様  
に、将来を見通した夢のある町づくりを目指す。



工事が進む国道289号「八十里越」

# 住民と行政を結ぶ 仕組みの検討を

## 答 住民参加による行政に努力

**問** 人口減少に歯止めをかけ、持続可能な町づくりを実現するには、「第七次只見町振興計画」や「総合戦略」に掲げた内容を行政、議会、住民が

まず共有して住民の声が行政に届く、住民が意欲的に町づくりに参加できる環境など、住民と行政をつなぐ仕組みを考える必要がある

だ。住民と行政の「協働」を実現するため、行政組織の考え方、住民との合意形成、財政運営の考え方について問う。

**答** 行政組織については、国が進める地方創生、少子化対策などに積極的に取り組むための部署の設置などを含めて今後検討していく。

住民との合意形成は極めて大切と考えている。引き続き住民との対話を通じて、更に合意形成を図る手法を検討していく。住民参加による行政の推進に努力する。

財政運営については、次世代の子どもの負担にならないよう、行政改革を推進し経費の削減と効果的な配分に努める。山積する課題に対応するため事業の選択と集中を行い、基金の活用も図っていく。



議員 目黒仁也

## 振興センターの権限強化を

### 答 今後の検討課題

**問** 住民参加を具体的にするため、地域づくりの拠点である振興センターの予算や権限を再検討すべきだ。現在の交付金制度の見直しを含めて、予算や決裁権を強化した組織体制が必要だ。

**答** 生涯学習との関係もある。予算・権限を増やしたから良いというものでもない。今後の検討課題とさせていただきます。

**問** 振興計画で掲げた定期的な振興センターと各課の情報交換、振興センターと集落代表者との協議、これらについて、ルーラル化を早急に行うべきだ。

**答** 住民との合意形成を得ていくことが重要で、集落の意見を吸い上げる仕組みとして検討していかなければならない。



住民との意見交換（明和振興センター）

# 民具収蔵庫の建設状況は

**答** できるだけ財政負担の少ない形に取り組む

**答** 11月7日に文化庁文化財調査官に、現在の旧朝日公民館での民具の保存状況、大倉地区の建設予定地の視察と収蔵庫の意義や必要性についての指導と本事業に対する理解をいただいた。建設予定地については、地権者の同意を得て、農業委員会に農用地区域からの除外を申請しており、12月9日

**問** 平成29年度の計画と予算計上はあるのか。



議員 高橋 孝義  
さとう たかよし

**問** 民具は自然と共生してきた只見のユネスコエコパーク

**答** 工程、予算等が具体的に変わった段階で適時実施していく。

**問** 住民説明会を実施するののか。

**答** 国の補助が決定しだい具体的な工程を精査する。

**問** 今後の年度別スケジュールを示せ。

に現地確認を実施した状況である。



民具収蔵庫建設予定地

**答** の根源と考えるが。世界の学者達が、学びにくるような施設になるように進めていきたい。



黒谷地内に保管されている民具

# 空き家バンクの事業展開は

**答** 今年度末にはホームページで紹介する

**問** 空き家バンク事業の進捗状況について説明を求めらる。

**答** 空き家バンクに係る実施要綱を制定するとともに、空き家所有者への意向等のアンケート調査を実施した。その中から、売買・貸借希望者について、空き家の間取りや物件の状況調査を行い、只見町のホームページ上で紹介できるように作業を進めている

**問** ホームページ等で紹介できる時期はいつか。

**答** 今年度末にはスタートしたい。

**問** 今後の事業展開をどのように考えているか。

**答** 空き家バンクの運用開始を目指している。福島県や国においても空き家情報サイトの開設計画もあることから、それらの

サイトと連携を図りながら移住定住が促進されるように努める。

**問** 運用開始後は、明和振興センターだけでなく本庁での担当課を設けてはいかがか。

**答** 今後検討していきたい。



議員 鈴木 好行

## サンドバレーの需要見込みは

**答** 年間 8000 人を見込む

**問** サンドバレーコート  
の需要見込みを示せ。

**答** 初年度は、年間 8000 人程度の利用を見込んでいます。ビーチバレーが国体での正式種目になることもあり、福島県バレーボール協会、全日本バレーボール協会とも連携し、大会の開催、合宿等での利用を進めていく。併せて宿泊や飲食など地域経済への波及効果を狙っています。

**問** 年間 8000 人の利用見込みの根拠は何か。

**答** スポーツツーリズム、スポーツ合宿、各種大会等、内々では話をいただいている。それらを踏まえた数字である。

**問** 12月20日がト  
レーラーハウスの起業  
申込の第一  
次締め切りだが、現段階



町で購入したトレーラーハウス

**問** での申し込み状況はどうなっているか。

**答** 見込みを含めて、2件の応募をいただいている。

**問** トレーラーハウスでの起業者が失敗しないように有識者による経営指導等が必要ではないか。

**答** 今後検討していきたい。

**問** 「スポーツパーク基本構想」を踏まえた基本計画は、いつ示されるのか。

**答** 平成29年1月中旬には示したい。



ふじ ちから  
た 藤 田 力 議員

# 町内の耕作放棄地面積は

**答** 田畑合計で88ヘクタール

**答** 田が30ヘクタール、畑が58ヘクタール。合計で88ヘクタールである。

**問** 農産物価格の低迷、高齢化、後継者の不足などから町内各所で農地の荒廃が進んでいる。今、有効な施策を実行しないと「手のつけられない」状態になる。先人が苦労して開拓した農地が次々に荒れていくのは残念だ。町内の耕作放棄地の面積はどのくらいあるか。

**問** 田が30ヘクタール、畑が58ヘクタール。合計で88ヘクタールである。

**答** 田が30ヘクタール、畑が58ヘクタール。合計で88ヘクタールである。

**問** 提案だが、電源開発(株)で滝ダムから堆積土砂を搬出している。この土を利用して耕作放棄地の盛り土や思い切った農地造成をしたらどうか。

**答** 有効に活用できる方策と考えている。補助金と合わせて耕作放棄地解消に役立てたい。

**問** 町で優良農地確保支援事業など二つの事業を計画し予算化した。補助申請は残念ながら無かった。

**問** 耕作放棄地を減らすために、どんな対策をしているのか。



滝ダムから運ばれた大量の土。来年には素晴らしい畑が誕生します

**問** 町で援助して負担無しで出来ないか。

**答** 場所により整地の経費が違う。調査して対応を検討する。

**問** 町に移住されている。平成16年度から14名の人が只見町に移住されている。

**答** 人口減少対策の一つとして、私は「移住対策」に可能性を感じている。町内に今まで移住された人は何人いるのか。

**問** 山形県朝日町の「空き物件バンク」では、紹介があれば町職員が現地案内をし、希望すれば町提携の不動産業者で契約する。こうしたことが出来ないか。

**答** 年度内にネットで立ち上げスタートする。移住者を受け入れ人口減に歯止めをかけたいと考えている。

## 今までの移住実績は

**答** 平成16年度から14名が移住

# 平成27年度決算 不認定の検証は

**答** 就任から間がなく検討に至っていない

## 問

平成27年度決算不認定になった原因の検証はどのような場で行われ、結果はどのような内容か。

## 答

就任から間がなく報告書の検討に至っていない。今回は、この質問の内容を受け止めさせていただく。

## 問

広報ただみ12月号に前町長の退

任の挨拶が掲載されている。この記述中に、豪雨災の被災住民との係争、庁舎建設に際し多額の費用をかけたが、ら庁舎建築が白紙に戻ったことなどを捉え、慙愧に絶えない悔い、を残した事務があるとしている。

## 答

引継文書の項目にはあったが、具体的な内容は無い。また、書類で終わった以外、両者が口頭で話題にした場面があった。この場面の公表は

勘弁してほしい。議会の「役場庁舎建設に係る調査特別委員会報告書」を尊重し、取り組む。

## 問

役場庁舎建設で既に一億二千万円支出されている。この責任の所在は誰にあるのか。

## 答

一連の責任は、議会特別委員会の報告で一定の方向性は示されたと理解している。それを尊重して取り組んでいく。

## 問

入札までの指導的立場にあった環境システム研究所に監理責任があると報告書では言っているが、

## 答

まだ完全に把握していないの

で、ここでの即答は控えさせていただきます。

※他に、「町の将来と活力の維持」「行政組織機構改変」「7・29新潟・福島豪雨災害の裁判」について質問しました。

心残りは豪雨災害時の町の対応について、被災された町民の方達と町との間に係争を残してしまったこと、そして役場庁舎建設も長い時間と多額の費用をかけたが完成をみなかったことは、町長として慙愧に堪えません。



議員 一 右 井 酒

### 町長退任の挨拶



平成27年12月15日  
2期8年町長退任の挨拶

「平成27年12月15日、町長退任の挨拶」  
町長退任の挨拶は、町民の皆様へ、町政運営の振り返り、心残りの挨拶、今後の町政運営の展望について述べさせていただきます。平成27年12月15日、町長退任の挨拶は、町民の皆様へ、町政運営の振り返り、心残りの挨拶、今後の町政運営の展望について述べさせていただきます。平成27年12月15日、町長退任の挨拶は、町民の皆様へ、町政運営の振り返り、心残りの挨拶、今後の町政運営の展望について述べさせていただきます。

広報ただみ12月号（抜粋）

# 会津ただみ振興公社の 抜本的改革を

## 答 課題を踏まえ検討する



鈴木 征 議員

**問** 会津ただみ振興公社が取り組む事業を、町ではどのようにとらえているか。

**答** 会津ただみ振興公社は、4つの観光施設（青少年旅行村いこいの森・歳時記念館・河井継之助記念館・只見スキー場）の管理運営と福祉送迎業務の5部門を運営している。平成27年度の運営状況として、5部門での総売上額が6,300万円余り、入込客数が35,000人

余りとなり、前年度対比で売上額が97%、入込客数が107%となっている。

**答** 振興公社には、第三セクター改革の課題も残っており、また、代表者に町長若しくは副町長が就任するといった従来の組織のあり方も検討していきたい。

**問** 旅行村の冬期間営業について、今後の町の考えを問う。

**答** 只見ユネスコエコパークの観光



青少年旅行村いこいの森

## 荒廃農地の課税方法は

答 現況地目により評価額を算定している

**問** 現状において荒廃している農地の課税方法について問う。

**答** 固定資産税の土地の課税については、現況地目により評価額を算定し課税している。現況の確認については、固定資産税に係る縦覧期間を定め、疑問のある納税者

振興にはキャンプをはじめ様々な自然体験を提供する必要性を認識している。只見ユネスコエコパークの自然環境をより多くの人に「体感」し「滞在」させる環境を整備し、会津ただみ振興公社のこれまでのアウトドア観光の経験と実績に、専門知識と経営ノウハウ

を持った民間資本等との連携等により更に磨きを掛けたアウトドア観光を推進し、併せて振興公社の活性化を図って参りたいと考えている。

からの問い合わせに対応しながら、必要な場合には現地確認等を実施し、縦覧期間以外でも必要な場合には随時相談を受け付け対応している。

を田として課税している。

※他に、「町道整備計画」について質問しました。

なお、農業を営んでいる方が提出される営農計画書の中で、自己保全管理されている田については、現況地目

# ナイトウォークを

## 再開しては

### 答 只見線の復旧復興に資するかを含め検討

#### 問

只見沿線ナイトウォークは中越地震発生以降実施されていらない。只見線の復旧復興をPRするためにもナイトウォークを再開してはどうか。

#### 答

ナイトウォークは平成16年10月の中越地震、その後の町村合併、さらには実施上の様々な課題等でイベントの見直しと

なった経緯がある。まずは今までの経過を踏まえるとともに、道路

通行上の問題など、実施する際の様々な課題が懸念されるので、このイベントが只見線の復旧復興にどれだけ資

することができるかも含め検討していきたい。

#### 問

これまでに只見町から魚沼市に

対して再開を打診したことはあつたか。

#### 答

再開を打診したことは無かつた。



議員 黒道 目



只見沿線ナイトウォークの実施状況（平成16年当時）

## 只見線復旧後の二次交通対策は

### 答 観光誘客の拡大を図るため調査検討する

#### 問

先日の只見沿線住民説明会では上下分離方式（案）とバス代替（案）が提案された。上下分離方式で鉄道の復旧を求めていくのはもちろんだが、観光復興は二次交通の充実も不可欠だと考える。町長の考えを伺う。

#### 答

観光面における二次交通対策については、只見駅前を発着とした割安タクシープランを観光まちづくり協会が主となり運行している。また、来春には東武鉄道新型特急「リバイ会津」が東京浅草から会津田島駅への直通運行として開始となることから、会津田島〜只見ツアーバスの連絡等利便性を高めた運行による直通送客や、JR只見線利用につながるツアーバス運行により、鉄道ファンをはじめ観

光誘客の拡大を図っていく。

#### 問

バス路線なしで交流人口を増やしていけるのか。

#### 答

会津バスには町からも補助を出して運行していたが、利用客の減少により撤退した経緯がある。その流れで我が町が選んできたのが「雪ん子タクシー」であるが、観光客への対策も考えていく必要がある。

#### 問

町営バスを運行される可能性はあるか。

#### 答

雪んこタクシーの活用は可能性があると感じている。ただ観光客も利用できるよう丁寧に調査しながら検討していきたい。

# 「放課後児童クラブ」の進捗状況は

## 答 「子育て広場」週5日実施に向け協議中



山岸 国夫 議員

**問** 町の子ども・子育て支援事業計画で「すべての児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう、施設整備・人員体制の確保を図り、早期の実施を目指します」とある。一日も早い実施を求めるが、進捗状況を問う。

**答** 開始に向けた手順が複雑で、一定の準備期間を要する。目標の平成31年の一体的な本格実施に向けて、環境づくりに取



放課後こども教室の様子

**問** 町の子ども・子育て支援事業計画で「すべての児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう、施設整備・人員体制の確保を図り、早期の実施を目指します」とある。一日も早い実施を求めるが、進捗状況を問う。

**答** 町の子ども・子育て支援事業計画で「すべての児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう、施設整備・人員体制の確保を図り、早期の実施を目指します」とある。一日も早い実施を求めるが、進捗状況を問う。

**問** 放課後子ども教室か学童保育的な方向で進めるのか、基本方向について伺う。

**答** 先に放課後子ども教室を拡充し、放課後児童クラブをハード面で整備を進めて二つを一体的に進めることを想定している。

**問** 来年から拡充するのか。専任者の配置、夏休みも拡充するのか。

**答** 入院・外来・訪問看護を口

**答** 只見コミュニティセンターに委託し、「子育て広場」を週2回実施している。事業者と協議し来年から週5日実施に持っていきたい。夏休みも継続して実施できる整備を進めたい。児童クラブの運営には指

## 診療所の看護師体制充実を

### 答 地域医療の要、確保に取り組む

**問** 朝日診療所は町民の命を守るかがえのない施設で、二年前には看護師不足から胃カメラ検査ができない状況が発生した。看護師の安定した充足は待たなしの課題である。定員確保と今後の安定した看護師体制確立についての対応を問う。

**答** 入院・外来・訪問看護を口

テーシオンで担当するには看護師の数が不足している。看護師4名、看護助手4名を臨時職員として雇用。更に会津中央病院救命救急センターと出向協定を締結し、常に2名が勤務する体制をとっている。今後、3年連続で退職が見込まれる。退職者の補充も含めたなかで体制の検討を行う。診療所が地域医療

導員を置くことが必要。スタッフの育成をはかる。

**問** 訪問看護ステーションはどうするのか。

**答** 現在は診療所体制と一体でシフトを組み運用している。看護師が確保できれば以前と同じ体制をとる。



ブナりん

# 教えて！議会のこと

Vol. 10



アカショウちゃん

## 一般質問って どんな制度なの？



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



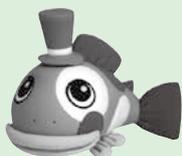
**ブナりん** 議会が始まる前に一般質問というのがお知らせ版で配布されるけどどんなことなの？

**広報広聴委員長** 議会は言論の府と言われていて、議論することがとても大事なんだよ。町長が行う行政をチェックする具体的な方法のひとつなんだ。町の行政全般にわたって、町長の方針、見解、事実の説明、報告を求めたり、町民の意見をふまえ議員が質問により、町政などを指摘したり、自分の意見を言えるんだよ。



**アカショウちゃん** 議員が質問するにはどうするの？

**広報広聴委員長** 只見町議会の規則などで決められているんだよ。



**イワっぺ** それってどういう内容なの？

**広報広聴委員長** 質問を定例月（3月・6月・9月・12月）の会期の初めに行うことや、質問するには、通告という制度があって、議員が質問したい内容を定められた日まで提出すること。議長は、一般質問通告一覧表をつくり議員や関係者に配布すること。当局は第一回の答弁は文書により当日の会議が始まる前までに議員及び関係者に配布することが決められているんだよ。

**アカショウちゃん** 質問順や質問時間はどう決めてるの？

**広報広聴委員長** 議員が通告を提出した順により質問することになっているんだよ。また、質問形式は一問一答方式で、時間は答弁も含め60分以内と決まっているんだよ。

**ブナりん** ぼくも質問してみたいな！

## 只見町のいい所



只見中学校 1年

みなかわ もえ  
皆川 萌

私が思う只見町のいい所は二つあります。

一つ目は、只見町の人がとてもやさしいことです。学校の帰りに地域の人に会うと、挨拶をしてもらえます。地域の人からおいしい野菜をいただくこともあります。そのような時、私はとてもうれしくなります。

二つ目は、自然がたくさんある所です。空気がおいしかったり、春夏秋冬さまざまな姿に変わる綺麗な山を間近に見ることができます。

最近、只見町の人口が減っているのが心配です。もっと店を増やすなどして、みんなが住みよい町をつくってほしいです。

## 地域がつながる



只見小学校 6年

すずき らな  
鈴木 来菜

今年の三世代交流学級に、たくさんのお年寄りが来校されました。

中には、今年の夏に私たちが送った暑中見舞いがきっかけで来てくださった方もおられました。そこでは、昔遊びで交流したり、道徳の授業でお話を聞かせていただいたりと楽しくふれ合うことができました。

只見には元気なお年寄りがたくさんいてうれしいです。そして、そのような方々と若い人が交流する場があれば、町全体が元気になってもっと温かい町になるとと思います。私は、これからも地域とつながりを深めていきたいです。

## あなたの意見が議会を変える！

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール(gikai@town.tadami.lg.jp)でお寄せ下さい。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

## 議会を傍聴しませんか

～議会中継がインターネットでもご覧になれます～

只見町議会は、動画共有サービス「Ustream」・「YouTube」を利用し、議会のライブ中継、録画配信を行っています。只見町議会のホームページで、いつでも、どこからでも見ることができます。「只見町議会」で検索してご覧ください。

## まちづくりについて意見交換しませんか

町内のあらゆる団体や集まり等で、ご希望の日時と場所をお申込みいただければ、議会が赴いて意見交換を行います。町民の皆さんの積極的なお申し込みをお待ちしております。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

12月会議は、同月16日に新しく只見町長に就任した「菅家三雄氏」を迎え、19日から22日までの4日間開催されました。様々な問題点の指摘も出され、議論を尽くし、無事会期内に終了しました。

今後も今まで以上に町民に分かりやすく「只見町」の出来事を報告できるように編集委員全員で頑張りますので、本年もよろしくお願ひします。

(大塚純一郎委員)

## 発行責任者

議長 齋藤 邦夫

## 広報広聴常任委員会

委員長 目黒 仁也

副委員長 目黒 道人

委員 大塚純一郎

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行